

## 令和2年度第15回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和3年2月15日(月) 午後3時10分～午後4時50分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志  
職務代理者 五十嵐 紀 子 合宿の里統括監 三 上 正 洋  
委 員 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章  
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 武 山 鉄 也  
委 員 山 田 敦 久

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長

本年は大雪のため雪害が多く、火災も数件発生している。新型コロナウイルス感染症については、本市でもいよいよワクチンの接種が始まろうとしている。職員40名体制で準備を進めており、まず、医療関係者から始まり、4月からは65歳以上の高齢者に接種する予定。教職員の感染が確認された朝日中学校は17日まで学年閉鎖している。現在は、感染しないよう気をつけていても、どこで感染しても不思議ではない状況にある。市立病院の職員約120名もPCR検査を行った。

昨日の新聞に「修学旅行が延期されたままで、実施の見通しがついていない高校が多くある」との記事が出ていた。東高校では昨年度の台湾から長崎県に行先を変更し、2月2日から修学旅行を実施する予定であったが、長崎県の「緊急事態宣言」発令期間にあたることから、やむなくキャンセルした。その後、「緊急事態宣言」は解除されたものの、県外との不要不急の往来自粛を呼びかける「特別警戒警報」が、2月21日まで発令されていることを受け、3月9日から13日まで4泊5日の日程で再度調整し、生徒7名、引率3名の計10名で修学旅行を実施する予定。何とか実施してもらいたいと思っている。

小中学校の卒業式については、中央4校と周辺6校で、ある程度の内容を統一して開催する予定である。最終的な決定はこれからだが、昨年の卒業式以上の形で実施したい。翔雲高校では来賓を呼ばずに卒業式を行うとのことである。東高校は市長、PTA会長、教育長を来賓として案内する予定。来賓として教育委員を案内する小中学校でも、祝辞は紙面印刷し、当日配付する予定となっている。

本市の「地域学校協働活動」が、文部科学大臣表彰を受けることになった。2月25日には表彰式が開催されるため、リモートで参加する予定である。

17日に開催する市議会全員協議会では、新年度予算や各種施設の施設管理方針、病院経営改革プランなどを説明し、来週から定例会の開催となる。

本日もよろしく願います。

#### 1 議事について

#### ○中峰教育長 進行

議案第31号 令和3年度教育行政執行方針について説明を求める。

#### ○鴻野部長

教育行政執行方針案については、事前に郵送させていただいた。方針の内容が「教育の重点」や「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」に関連することになる。教育長の思いや、本年度の

重点的な事項をまとめた。7ページについては、一部の表現を修正したため、本日も配りした内容に差し替えをお願いしたい。

○五十嵐職務代理人

「Society」などの英語やカタカナ語が多く使われているという印象がある。自分でも調べてみたが、「インターネットリテラシー」は、「インターネットを適切に使いこなす能力」とのことであり、日本語で表現しても良いと感じた。カタカナ語を使う場合は、言葉の注釈などを入れてはどうか。

○中峰教育長

「Society」は昨年の方針でも示している。教育だけでなく、社会全体でも使用されている言葉であり、市政執行方針でも使用している。「カリキュラム・マネジメント」については、「学校経営」や「組織的な運営」を一つの言葉でまとめて表現しているもの。

○五十嵐職務代理人

普段から使用している人は気にならないのかもしれないが、もう少しわかりやすくしても良いと感じた。場合によっては注釈が必要ではないか。

○中峰教育長

市議会での議員からの質問でも使用されているが、未だ一般的とはいいきれない言葉については配慮が必要かもしれない。資料等では、完全に日本語に置き換えたり、注釈を入れて作成することもある。読み上げた時に音として聞いた時と、紙面で読んだ時では印象が違う。

○加藤委員

「インターネット・リテラシー」については、「インターネットを適切に使いこなす能力」という意味で良いと思う。子どもたちが加害者にも被害者にもならず、いじめに関わらないことを望んでいる。子どもたちが関わるトラブルは金銭といじめがほとんどだが、保護者や教師が理解していない状況がある。

○中峰教育長

「カリキュラム・マネジメント」を言い替えることはできるか。

○須藤課長

学習指導要領などにも出てくる言葉であり、言い替えは難しい。

○馬場委員

教育に関する専門用語のようなものか。

○加藤委員

市民に対し「自分で調べてください」ということにならない。

○中峰教育長

教育用語は特殊なものが多く、新しい言葉が次々出てくる。

○馬場委員

言っていることは解るが、何と表現すべきか判らない。

○中峰教育長

市政執行方針でもRPA（ロボティックプロセスオートメーション：業務効率化を実現するテクノロジー）について記載している。

○五十嵐職務代理人

国会中継を見てもカタカナ語が多いと感じる。

○中峰教育長

言い替えできない場合は注釈を入れるなど、工夫したい。

○五十嵐職務代理人

コンパクトに文章をまとめたいとの意思を感じるが、わかりやすい表現を使うべきである。

○中峰教育長

他にご意見があれば発言願う。

○五十嵐職務代理者

博物館の祝日開館が盛り込まれていないのではないかと。文化センターは土日祝日とある。

○中峰教育長

「1月から2月の土日祝日のみ開館」と表現した方が良いか。

○五十嵐職務代理者

その方がわかりやすい。

○馬場委員

1月と2月は全て休館すると誤解されないようにすべき。

○山田委員

「利用実態」という表現は厳しい言い方なのでは。

○中峰教育長

表現については迷ったところである。もう少し違う表現に修正したい。

○山田委員

「地域学校協働活動」での文部科学大臣表彰とはどういった内容か。

○武山課長

コミュニティ・スクールの導入によって、学校と地域のつながりが強くなった。中央地区での見守り活動や、多寄地区でのマスク作りなどが総合的に評価されたもの。

○中峰教育長

士別小では体力テスト実施時の計測作業を保護者に手伝ってもらっている。コミュニティ・スクールと一体的に考えていることも評価の一因である。

○五十嵐職務代理者

全国ではどのくらい受賞したのか。

○中峰教育長

様々な分野で表彰されており、自治体や学校として受賞している。本年は全国で111件受賞した。

○武山課長

道内では3件で、本市の他に、奥尻町の地域学び支援ネット、北広島市の放課後子ども教室が受賞している。

○中峰教育長

現時点でのGIGAスクール研修では「インターネット・リテラシー」についてまで進んでいるか。

○須藤課長

現在の研修は基本的な操作方法を学んでいるところである。

○中峰教育長

ICTの活用に関わっては、数名の教員による「プロジェクトチーム」を編成した。学校での効果的な使い方などを研究し、各校に還元していく考えである。

教育行政執行方針については、一部の表現を工夫する以外はよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第32号 士別市民文化センター条例施行規則の一部を改正する規則についてから、議案第44

号 士別市農業者トレーニングセンター条例施行規則の一部を改正する規則まで、関連があるのでまとめて説明を求める。

○鴻野部長

社会教育・社会体育施設の開館時間変更に伴う規則の改正が10件あり、スポーツ研修所と朝日武道館をそれぞれ廃止するための条例改正である。(別紙資料を説明)

○中峰教育長

農業者トレーニングセンターは月曜も開館するとの表記が必要である。

この件についてはよろしいですか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第45号 士別市索道安全管理規程の一部を改正する規程について説明を求める。

○三上統括監

運輸省の規程が変更されたことに伴い、本市の規程も改正するもの。

## 2 その他について

(1) 卒業式の日程について

(2) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明

○五十嵐職務代理者

生涯学習情報センターが月曜休館になると、ウィズはどうなるのか。

○鴻野部長

現在調整しているところである。

○中峰教育長

月曜は体育を主体とする日に変更するという方法もあるが、様々な配慮が必要な子どもの対応に時間を割く必要があり、スタッフは懸命に取り組んでいる中で、ウィズのあり方を大事にしなければと感じている。

○五十嵐職務代理者

最近ウィズについて話題に上がらなかったが、特に大きな変化や課題はないのか。

○馬場委員

現在は小学生・中学生どちらの人数が多いのか。

○須藤課長

中学生の方が人数が多い状況である。

午後4時50分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章